



令和4年8月26日



# 西都銀上学園だより

西都銀上学園 学校だより 文責 校長 山之内善徳

## 不揃いの木を組む ～技を伝え、人を育てる～

この夏休みの期間中、栃木県の鶴工舎（いかるがこうしゃ）の棟梁、小川三男氏の講演を聴く機会がありました。小川棟梁は、高校の時の修学旅行で、法隆寺五重塔を見て感激し、宮大工になろうと決心したそうです。当時の法隆寺の宮大工の西岡棟梁の内弟子となり、今では全国の寺院の修理・改築・新築の設計施工にあたっているとのこと。講演の中で、心に響いた言葉を紹介します。

「不器用の一心に勝る名人はいない。」器用な人は、ある程度までは早く上達する。しかし、仕事を甘く見て、知らず知らず楽を覚える。不器用でまじめな者は、一心に考える。時間はかかるが正確なものを創り出す。例として出されたのが、10mの柱を真っすぐに立てる時、器用な人は、手先で調整する。まじめな不器用者は初めに10mの直角定規をつくる。「あなたたちが家を作る時にどちらを選択するか？」もちろん、小川棟梁が、今10mの直角定規を作っているとは思えませんが、科学技術の進歩した現代においても、10mの直角定規を作って柱を立てるような徹底的なこだわり、執念、作品への愛情を感じました。そして、器用不器用に関わらず弟子たちを大切に育てる姿勢が伝わってきました。教育につながる愛情とこだわりを感じた100分間でした。



法隆寺五重塔

## 2学期が始まりました。



8月25日（木）、2学期始業式が行われました。みんな夏休み中、元気に過ごしていたようで、明るい笑顔を見ることができました。地元に戻っていて、出席していない子どもたちもいましたが、来週には全員学校に登校してくるので楽しみにしています。

式の中で、一人一人が2学期の抱負を述べてくれました。「受験の準備をしていきたい。」「整理整頓ができるようになりたい。」「自分のことは自分でできるようになりたい。」「感情をコントロールしていきたい。」「運動会や文化祭などの行事を頑張っていきたい。」など、みんなのことを考え伸びていこうとする意欲が伝わってきました。ぜひ目標が達成できるといいですね。私の個人的な目標を、子どもたちの前で話しましたが、子どもたちと一緒に目標を実現できればいいなと考えています。

## 自然災害、早めの判断が必要です。

最近、日本中のあちらこちらで「線状降水帯」による大雨のニュースをよく聞きます。大雨というと「集中豪雨」「ゲリラ豪雨」「バケツをひっくり返したような・・・」などの言葉や表現は昔から聞いていました。「線状降水帯」は、2014年の広島豪雨の時から用いられるようになったようです。この夏、皆さんのお住いの地域はどうでしたか。ここ銀上地区も九州山地の真ただ中にあり例外ではありません。大雨が続く時には、冷静な判断が必要です。子どもたちの安全を最優先に考えていきます。



この夏の豪雨時  
(銀上地区)

- |           |                          |
|-----------|--------------------------|
| 9月 1日 (木) | 中3地区実力テスト 中1、2課題テスト（～2日） |
| 4日 (日)    | 宮崎県消防防災訓練（本校へり発着）        |
| 6日 (火)    | 運動会結団式                   |
| 17日 (土)   | PTA奉仕作業（里親・児童生徒・青年部・教職員） |

## 今後の主な行事予定

